



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

太鼓の祭典



【日 時】2024年 **10月20日** (日)

【会 場】不二羽島文化センター 大ホール

主 催：文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会、羽島市、
羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024 羽島市実行委員会、



主 管：日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟

協 賛： Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

※会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮願います。



「清流の国ぎふ」
文化祭2024
公式ウェブサイト



ご挨拶

文部科学大臣

盛山 正仁

第39回国民文化祭が、10月14日から11月24日までの42日間にわたり、岐阜県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で39回目を迎えます。

岐阜県は、古くから交通の要衝、東西文化の結節点であったことから、様々な交流を通じて、祭り・踊り・地芝居など、地域に根付いた多様な文化が生まれ、現在まで受け継がれています。また、豊かな森を源として県内各地を流れる「清流」が、木工芸や美濃和紙、刃物、陶磁器などの伝統文化を育んできたという特徴を持ちます。

本大会に参加される皆様には、地域ごとに特色を持つ岐阜県の多様な文化や自然を肌で感じていただき、本大会のキャッチフレーズである「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」のとおり、清流文化が国内外に向けて大きく発信され、文化の継承や新たな文化創造に繋がっていく大会となることを心から祈念しております。

また、本大会は、「清流の国ぎふ」文化祭2024として、第24回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

文部科学省においても、第2期文化芸術推進基本計画に基づき、心豊かで活力ある社会を形成するため、文化庁の移転を契機とした文化芸術による地方創生、食文化や文化観光の推進など、「文化芸術と経済の好循環」を加速し、文化芸術立国の実現に取り組んでまいります。

結びに、開催に当たり格別の御尽力をいただきました岐阜県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。

掲載内容は令和6年8月時点のものです。

太鼓の祭典



ご挨拶

厚生労働大臣

武見敬三

「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催に当たり、主催者の一人として御挨拶を申し上げます。岐阜県において、全国障害者芸術・文化祭は、平成14年度に次いで2回目の開催であり、さらに今回は、「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」の一体開催となったことを心より喜ばしく思います。

全国障害者芸術・文化祭は、障害のある方々が芸術文化活動を通じて自己を表現し、生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解を深め、障害のある方々の自立と社会参加の促進に寄与することを目的としています。国民文化祭との一体的な開催により、障害の有無に関わらず、すべての人がお互いを尊重しながら共生する社会の実現につながることを祈念しております。

本大会は、「ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～」をテーマに、岐阜県の豊かな自然と長い歴史に育まれた魅力ある文化資源を生かし、誰もが多彩な文化芸術に親しむことができる文化・芸術の祭典です。障害のある方々が制作した作品を展示する展覧会や、障害の有無に関わらず一緒に参加して楽しむ舞台公演、多様な人々が交流するワークショップや芸術教室、フォーラム等、魅力あふれる様々なイベントが開催されます。この機会に、多くの方々が魅力ある作品に触れて楽しんでいただき、障害のある方の活躍の場が一層広がっていくことを期待しております。

厚生労働省では、本大会と連携した「サテライト開催事業」により、全国各地で障害者による芸術・文化イベントの開催を予定しています。岐阜県の芸術・文化の魅力を全国に伝え、感動を分かち合い、障害のある方の芸術文化活動の全国的な振興を図ってまいります。

結びになりますが、本大会の開催に当たり、格別の御尽力をいただきました岐阜県、開催市町村、文化関係団体、障害者関係団体をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げて、私からの挨拶といたします。

掲載内容は令和6年8月時点のものです。



ご挨拶

岐阜県知事

古田 肇

「清流の国ぎふ」文化祭2024（「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」）が、10月14日から11月24日の42日間、ここ岐阜の地で開催できますことは誠に喜ばしく、国内外からご参加いただく多くの皆様を心から歓迎いたします。

本県は、古来より山紫水明の自然に恵まれ、豊かな森を源とする「清流」が県内をあまねく流れています。その「清流」は、里や街を潤し、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など「匠の技」を磨くとともに、千有余年の歴史を誇る鶺鴒銅やユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事（高山祭、古川祭、大垣祭）」、「風流踊（郡上踊、寒水の掛踊）」など、世界に誇る伝統と文化を育んできました。

「清流」は、自然と人、人と人、地域と地域、そして時代と時代をつなぐ、我々岐阜県民にとってのアイデンティティであり、誇りや魅力の源です。

本大会では、「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」のキャッチフレーズのもと、県民総参加による県内42市町村それぞれの“推し”の発見、アート体験による身体と心をケアする文化的処方など、本県文化の「深化」を求めてまいります。加えて、国内のみならず、世界に開かれた文化交流による「発信」、そして今年元日に発生した能登半島地震からの「学び」（復興祈念）をテーマに、300を超える多彩な文化プログラムを展開します。

本大会開催を機に、ご参加いただいた方々やご来場いただいた皆様とともに地域への愛着と誇りを再確認し、一人ひとりがともに輝く「共生・共創社会」の実現を目指してまいります。

最後に、本県での開催に格別のお力添えとご支援をいただきました全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

太鼓の祭典



ご挨拶

羽島市長

松井 聡

国内最大級の文化の祭典である「清流の国ぎふ」文化祭2024（「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」）が、岐阜県内全域で盛大に開催されることを大変嬉しく思います。

羽島市では、全国文化交流事業として「太鼓の祭典」を開催するほか、地域文化発信事業として「ぎふ羽島駅前フェス」・「羽島美濃菊展」を開催します。このような形で主催者として参加できますことは、誠に喜ばしく、全国各地からお越しいただいた皆さまには心より歓迎を申し上げます。

羽島市は岐阜県の南部に位置し、東は木曽川、西は長良川に囲まれており、水と緑に恵まれた都市です。新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島インターチェンジを擁し、高速交通網の拠点として成長を続けています。

また、毎年5月3日に行われる県重要有形民俗文化財に指定されている豪華絢爛な山車が町中を練り歩く「竹鼻まつり」や、日本各地を巡りながら、生涯に12万體もの仏像を彫ったといわれる円空上人の「円空仏」が数多く残されているなど、文化・歴史の地域資源も数多く有しております。

お越しいただいた皆さまには、「清流の国ぎふ」文化祭2024を存分に楽しんでいただくとともに、是非この機会に本市の文化・歴史などにも触れていただき、羽島市の魅力を発見していただけると幸いです。

本日の公演では、日本太鼓財団岐阜県支部合同チームの皆さまに岐阜県に育った躍動感あふれる太鼓演奏でオープニングを飾っていただくとともに、全国各地の伝統・創作太鼓団体の皆さまにそれぞれの地域で継承・発展してきた特色ある太鼓演奏を披露していただきます。

この日のために各団体が練習を重ねてきた迫力あるパフォーマンスと和太鼓の高揚感に満ちたりズムを、心ゆくまでご堪能いただければと思います。

結びになりますが、本大会の開催にあたり、ご尽力をいただきました文化庁、厚生労働省、岐阜県、公益財団法人日本太鼓財団、日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟など多くの皆さまに深く感謝を申し上げますとともに、「太鼓の祭典」の成功を祈念いたしまして、挨拶といたします。



ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団
会 長

長 谷 川 義

このたび、「清流の国ぎふ」文化祭2024（「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」）「太鼓の祭典」が、ここ岐阜県羽島市において盛大に開催できますことは誠に喜ばしいことであり、ご来場いただきました皆さまには心より歓迎申し上げます。

日本の太鼓は、太鼓に向かう真摯な態度や団体演奏に必要なチームワークの大切さから「礼と節」が備わることを評価され、青少年の健全育成に大きな効果をあげております。さらに全身を使ってリズムを刻む日本太鼓の演奏は、障害者の療育に効用があることが立証されており、健常者のみならず障害者の太鼓団体も増加しております。年齢層は幼年の子供から高齢者までと幅広く、女性の参加も増えていることから、太鼓愛好者はまさに老若男女に広がっています。

このように日本太鼓の人気の高まる中、本日は全国から様々な太鼓団体が演奏いたします。さらに台湾からの参加に加えて障害者の太鼓団体も出演し、「太鼓の祭典」が開催されることは誠に時宜を得たものであります。

来場されたお客様には、この機会を楽しみに今日まで練習を重ねてきました各団体の特色あふれる太鼓演奏を最後までごゆっくりとお楽しみいただきたいと存じます。また、太鼓体験コーナーがございますので、普段なかなか触れる機会のない方もこれを機にお試しいただき、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

本祭典の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました文化庁、厚生労働省、岐阜県、「清流の国ぎふ」文化祭2024 実行委員会、羽島市、羽島市教育委員会、「清流の国ぎふ」文化祭2024 羽島市実行委員会、そして当財団が多大なご支援をいただいております日本財団ならびにボートレース関係者、主管の日本太鼓財団岐阜県支部、岐阜県太鼓連盟の皆さまに心からお礼を申し上げます。

太鼓の祭典



ご挨拶

日本太鼓財団岐阜県支部
支部長

和田 正人

「清流の国ぎふ」文化祭2024（「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」）をここ岐阜の地で盛大に開催できます事は大変喜ばしく、本日の「太鼓の祭典」にご参加頂く皆様を心から歓迎申し上げます。

岐阜県にとって国民文化祭の開催は25年ぶりとなります。今回の国民文化祭は「ともに・つなぐ・みらいへ」をキャッチフレーズに10月14日（月）～11月24日（日）の42日間にわたり開催されます。

岐阜県は古来、山紫水明の自然に恵まれ、世界に誇る伝統と文化を育んで来ました。豊かな森を源とする「清流」は、県内を流れ、里や街を日々潤しています。

岐阜県各地で様々な歴史や地域文化と共に育まれた「太鼓」は、躍動感溢れる鼓動で、観る人を魅了してきました。

多種多様な民族芸能や伝統行事を紡いできた清流の国で育った太鼓の躍動と、全国各地の勇壮な太鼓の響演を行い、交流を深めながら太鼓の魅力を全国に発信できるよう日々邁進しています。

本日、この地で行われる「太鼓の祭典」は、岐阜県はもちろんのこと、全国各地より伝統、創作太鼓の団体が一同に集います。その勇壮な太鼓の響演が皆様の心に残る一幕になれば幸いです。

結びに、本日の祭典にあたり格別なご支援、ご協力頂きました多くの関係者の方々に、心から深く感謝を申し上げ挨拶とさせていただきます。

第39回国民文化祭第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024

「太鼓の祭典」 プログラム

“Stream Country Gifu”cultural festival 2024
The 39th National cultural festival, the 24th National Art of
Persons with Disabilities, cultural festival
“Taiko Festival”

オープニング 10：30

日本太鼓財団岐阜県支部合同チーム 岐阜県 10
Nippon Taiko Foundation Gifu Chapter Joint Team from Gifu

【主催者挨拶】

羽島市長 松井 聡
公益財団法人 日本太鼓財団 会長 長谷川 義
日本太鼓財団岐阜県支部 支部長 和田 正人

第一部

- | | |
|---|--------------|
| 1. 清須市清洲伝統芸能保存会
Kiyosu City Kiyosu Taiko Team from Aichi | 愛知県 10 |
| 2. 朝霞太鼓
Asaka Taiko from Ishikawa | 石川県 11 |
| 3. 天保宮下太鼓
Tenpo Miyashimo Taiko from Gifu | 岐阜県 11 |
| 4. 海東流神楽太鼓
Kaitoryu Kagura Taiko from Aichi | 愛知県 12 |
| 5. 野州轟一番太鼓
Yashu Todoroki Ichiban Taiko from Tochigi | 栃木県 12 |
| 6. 近鉄百貨店諏訪太鼓
Kintetsu Department Store Suwa Taiko from Mie | 三重県 13 |
| 7. ファミリーユニット童鼓
Family Unit “Dokko” from Gifu | 岐阜県 13 |
| 8. 保倉川太鼓
Hokuragawa Taiko from Niigata | 新潟県 14 |
| 9. 広島庚午太鼓団
Hiroshima Kougo Taiko-dan from Hiroshima | 広島県 14 |

太鼓の祭典

10. 華音 Kaon from Kanagawa	神奈川県 ……	15
11. 鼓國雷響 JAPAN Kokoku Raikyo JAPAN from Gifu	岐阜県 ……	15
12. 山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部 Fuefuki High School Suireki Taiko Club from Yamanashi	山梨県 ……	16
13. 福岡大学和太鼓部（鼓舞猿） Fukuoka University Taiko Club “Kobuzaru” from Fukuoka	福岡県 ……	16

第二部

14. 中日本太鼓連合 Nakanihon Taiko Union from Nagano	長野県 ……	17
15. 天邪鬼流 和太鼓 麗彩 Amanojaku-ryu Wadaiko Reisai from Gifu	岐阜県 ……	17
16. 東京都立篠崎高等学校 和太鼓部【和桜乱舞】 Shinozaki High School Taiko Club “Wazakuraranbu” from Tokyo	東京都 ……	18
17. 大治太鼓保存会 Oharu Taiko from Aichi	愛知県 ……	18
18. DRUM 輪 DRUM Rin from Wakayama	和歌山県 ……	19
19. 岐阜勇爽太鼓 Gifu Yuso Taiko from Gifu	岐阜県 ……	19
20. 向日かぐや太鼓 Muko Kaguya Taiko from Kyoto	京都府 ……	20
21. 和太鼓 大地 Daichi from Ishikawa	石川県 ……	20
22. 奥州白河太鼓 Oshu Shirakawa Taiko from Fukushima	福島県 ……	21
23. 御璃刃 Orijin from Mie	三重県 ……	21
24. 上石津もんでこ太鼓保存会「弾」 Kamiishizu Mondeko Taiko “Dan” from Gifu	岐阜県 ……	22
25. 台湾太鼓協会 - 柏齡太鼓團 Taiwan Taiko Association “Boling Taiko-dan” from Taiwan	台湾 ……	22
26. 美濃の国羽島太鼓 Minonokuni Hashima Taiko from Gifu	岐阜県 ……	23

第三部

ゲスト団体 (Guest Teams)

27. 志賀疾風太鼓保存会 Shika Hayate Taiko from Ishikawa	石川県 ……………	24
28. 三代目源流 Third generation Genryu from Oita	大分県 ……………	24
29. 尾張新次郎太鼓保存会 Owari Shinjiro Taiko from Aichi	愛知県 ……………	25
30. 御諏訪太鼓保存会 Osuwa Taiko from Nagano	長野県 ……………	25
31. 九州 音鼓組 Kyushu Otoko-kumi from Nagasaki	長崎県 ……………	26

太鼓体験コーナー

場 所：舞台上

時 間：第1部終了後の休憩時間（日本太鼓財団岐阜県支部）

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

太鼓の祭典

にっ ぽん たい こ ざい だん ぎ ふ けん し ぶ ごう どう

日本太鼓財団岐阜県支部 合同チーム 岐阜県



演奏曲

つづら
鼓楽

磨墨太鼓保存会
羽流太鼓
岐阜神代響太鼓
安岐太鼓保存会
美濃もとす太鼓保存会
上石津もんでこ太鼓保存会
加納ふるさと太鼓保存会
岐阜和太鼓和道
岐阜勇爽太鼓
美濃の国羽島太鼓
鼓國雷響JAPAN
天保宮下太鼓
ファミリーユニット童鼓

1978年に岐阜県太鼓連盟が設立され、同連盟は1979年の全日本太鼓連盟結成時に加盟しました。現在は障がい者団体を含む加盟23団体を数えています。各団体の壁を取り除き、会員同士の親睦を深めることを目標に2015年に獅子の会が結成され、今回の国文祭を機に参加者を募り、合同チームを結成しました。

今回の演奏には障害者団体の方も参加されています。合同チーム参加者全員が楽しく演奏できるように振付等を変更し、一体感を重視した演奏を目指しています。

オープニングの演奏として、口上から始まり、「これから始まります。最後まで楽しんでいってください。」という歓迎の気持ちを込めて演奏します。

1

きよ す し きよ す でん とう げい のう ほ ぞん かい

清須市清洲伝統芸能保存会 愛知県



演奏曲

てんしゅかく こうわかまいあつもりいり
天主閣 (幸若舞敦盛入)

代表者：水野 一雄

竹市 幸司／松岡 史恵
山田 里香／今泉佐武郎
三輪 修嗣／左津前有香
姫田 双葉／姫田優己葉

1981年、織田信長公没後400年忌を契機に設立され、郷土の英傑「織田信長公」をテーマとした和太鼓曲の創作・継承と織田信長公を顕彰することを目的に活動しています。

今回の曲は1989年の清洲城再建を機に能楽師である観世流・太鼓方の鬼頭喜太郎師に創作を依頼。天下統一の足掛かりとされた“城”と、その“勢い”、戦国時代の時の“流れ”の早さと下剋上の“乱世”、そして新しい時代への幕開けをイメージした曲です。

能の要素を取り入れた「バチさばき」や「間」を特色として、曲調は序盤ゆっくり力強く、中盤からテンポを速くして、大太鼓と長胴太鼓との掛け合い、終盤では再びゆっくりしたテンポで、全ての太鼓の音を揃えて力強く展開します。

本日は冒頭に「幸若舞 敦盛と謡の一節」を交えて披露します。

2 朝霞太鼓

石川県



演奏曲

ゆうやく ほうじょう
勇躍 / 豊穰

代表者：村上 敏徳

村上 碧唯／野口 佳音
川崎 裕貴／野口 翔生
腰越 光琉／中村 和来
坂本 優花／中村由布子
村井あかね／藤浦 由奈
相川智優紀／太田由香里
東崎 心美／腰越 琉衣
腰越 友紀／村上 由磨
山川柳菜恵／村井 悠愛

石川県の河北潟周辺の集落に古くから伝わる「朝霞」というめでたい時などに唄われた祝い歌にちなんで名付けられた和太鼓チームです。地域のイベントやお祭りに出演するなど、積極的に活動をしています。自然からの恵みへの感謝や、人と人とのつながり、「笑顔の輪」の大切さを和太鼓で表現することを目指しています。

本日の1曲目「勇躍」は力強さを表現した躍動感あふれる曲です。テンポも軽やかで楽しめる曲となっています。腹筋で体を支える打ち方が出てきますのでぜひご注目ください。

2曲目「豊穰」は五穀豊穰、無病息災を祈って打つ組曲です。お祭りのように賑やかに演奏します。

3 天保宮下太鼓

岐阜県



演奏曲

みず みやこ
水の都

代表者：吉田 兼寿

山中 碧人／パリネロ恕優
パリネロ勇心／伊藤 礼奈
加納 りお／伊藤 礼貴
多々納惇人／川部 夏希
多々納睦子／川瀬 弥生
加藤 理香／市浦 秀一

1990年、宮下地区のお寺に保管されていた大太鼓を修理した際、胴内に天保4年の記述が発見された事をきっかけに活動が開始されました。小学校での太鼓クラブや児童館での太鼓教室を開催するなどの活動を行っています。

「水の都」は、自然豊かな木曽三川の穏やかさと雄大さを表現した曲です。それぞれが大海に向けて流れて行くようなうねりのあるオープニングから、右岸と左岸に分かれてテーマリズムを打ちます。途中、担ぎ桶が変化をつけ、最後は全員で心を1つにして揃い打ちをし、大きな盛り上がりとなっています。

小学生から大人までが呼吸を合わせて演奏します。担ぎ桶と長胴の掛け合いでは、お互いを意識し、1打1打を大切に打つことで、調和のとれたのびのびとした演奏をお届けします。

4 かい とう りゅう か ぐら だい こ 海東流神楽太鼓

愛知県



演奏曲
よ ぶし あとぐるま みち ゆ
四ツ節／神送舞／道行き

代表者：佐藤 康弘

足立 千春／足立 有羽
鈴木 翔吾／鈴木 絃夏
鈴木 瑛斗／神田 望
翠 ひなた／村上 奏
高阪 柊吏／佐藤未侑美
佐藤 優有／安田 凱渡

海東流神楽太鼓は、尾張南西部の農村で秋の実りに感謝し拝殿で打ち鳴らした奉納太鼓や、尾張の殿様へ実りを献上する道行きで打ち鳴らした笛太鼓を伝承しています。高度成長期に地元の祭礼が衰退していくことを憂いた宗家 月星鎮一氏が、この伝承を続けたいと奮起し1972年に保存会を発足させました。

「四ツ節」は秋の豊作をお祝いする祝宴の時に演奏されたといわれており、4つの節で構成されています。「神送舞」は神事の終わりに神様をお送りする時の奉納太鼓です。「道行き」は各村々が自慢の神楽屋形を曳いて練り歩きながら殿様へ実りを献上する際の行列で打ち鳴らされたといわれています。

「尾張の曲太鼓」といわれる、桴をクルクルと回す珍しい打法にもご注目ください。

5 や しゅう とどろき いち ばん だい こ 野州轟一番太鼓

栃木県



演奏曲
や しゅう やま かみ
野州 山の神

代表者：細川 智彦

伏見 文恵／伏見 彰悟
大門 睦子／大門 来恭
大門 玲実／成瀬 葵
瀧澤 俊明／青野 紀子
青野 友香／齋藤久美子
齋藤 幹介

2001年に設立され、栃木県の矢板市及び那須塩原市を中心に活動しています。野州とは江戸時代の栃木県のこと、栃木県で一番名前が轟く団体になりたいという願いが込められています。

チームの故郷は栃木県の北部に位置し、日光連山や那須連山に囲まれた自然豊かなところ。「野州 山の神」という曲は、こうした雄大な山々に囲まれた故郷で、人間が自然という神に生かされ、一体となって生きる喜びを表しています。

山の神の登場、神の偉大な力と人間の抗い、村人との宴、融和とともに訪れる日暮れ、夜明けとともに噴出する自然の熱い命など、様々な場面を思い浮かべながらご覧ください。大太鼓のソロから締太鼓のソロに続く、ダイナミックな中にも繊細な演奏にもご注目ください。

6

近鉄百貨店諏訪太鼓

三重県



演奏曲

まつ ばやし
わっしょい祭り囃子

代表者：伊藤 篤

小林	敏機／田中	秀生
森田	哲哉／矢橋	隆寛
鈴木	健司／田中	祥予
高林	皓志／藤田	奈央
首藤	杏美／木村	美月

近鉄百貨店四日市店で働く有志が集まり、御諏訪太鼓宗家小口大八氏から指導を受け、1961年に発足しました。以来63年、現在は12代目となる伊藤打頭を中心に、地元の祭りや百貨店のイベントなどで演奏し、伝統を受け継いでいます。

本日の演奏曲は、「わっしょい」と掛け声高らかに、お祭りで盛り上がる勢いを表現した曲です。チームのオリジナル曲を作りたいという想いから、メンバーで試行錯誤して作り上げました。

統一感のある揃い打ちからスタートし、和太鼓の侘び寂びをイメージした曲調へと変化していき、最後は「わっしょい」の掛け声とともに勢いよく盛り上がる展開となっています。

勢いのある掛け声と力強い太鼓の演奏にご注目ください。

7

ファミリーユニット童鼓

岐阜県



演奏曲

てん
TEN

代表者：児島 和夫

奥村	千鶴／奥村	杏里
高橋	貴子／高橋	秀徳
児島	秀美／児島	康寛
川口	清美／川口	舞
渡邊	朋子／渡邊	史浩
内木	裕美／内木さゆり	

1994年10月、高知県光の村養護学校の黒潮太鼓の演奏を見て、今までに経験したことのない驚きと感動を経験し、「子どもたちにも太鼓を打たせてあげたい」という思いを抱いたことから、2年後の1996年9月に結成されました。

本日の演奏曲は、チームを結成して10年が過ぎたころに基礎打ちパートを元に作曲されました。結成10年という節目にちなんで「TEN」と命名し、結成20年目までに、曲を優雅にそして楽しんで打てるようにと、少しずつ曲を進化させています。チームの成長に重ね合わせるかのように曲の終盤は躍動していきます。

3パートを順番に打つハーモニーの展開がありますので、ぜひお聞きください。

8 ほくらがわ だいこ 保倉川太鼓

新潟県



演奏曲

だいこ
まつり太鼓／ドンドラ

代表者：五井野 利一

杉田 潤／荻原 直樹

丸山 萌子／滝沢 健太

長谷川香純

1978年に太鼓愛好会として結成され、1991年、持ち曲の名称から取り「保倉川太鼓」と名乗り始めました。2013年には法人格を取得し、新潟県内初となる和太鼓団体のNPO法人として再スタートを切りました。和太鼓を通して、地域の振興や発展、社会貢献に寄与し、次世代の健全育成に重点をおいた取り組みを行っています。

こちらのチームは「粋な和太鼓」をテーマに、躍動感あふれる演奏を得意としています。打ち手の気合・気迫・魂が聴き手の体の中心にダイレクトに伝わり響き、観て楽しめる、体で感じる、心を揺さぶる、五感に訴えかける演奏です。

地元新潟での開催に沸きながらも、台風の影響で直前中止となった2019年国民文化祭への想いを胸に、「太鼓の祭典」初出演に臨みます。

9 ひろしま こうご たいこ だん 広島庚午太鼓団

広島県



演奏曲

かける ま
翔 馬

代表者：後田 雅美

浦 大作／沖 幸哉

串崎 栄／貞任 泰子

貞任 佑亮／重森 円佳

鈴木幸太郎／中川 巴那

秦 明正／秦 克行

藤丸 聡美／松葉口拓也

三原 昭夫／脇坂麻実子

2014年、広島市西区庚午地区の祭囃子を前身として発足。一人の経験者を除き、全員が初心者からのスタートでした。2017年には地元の小学校の児童が集まり、「庚午子ども太鼓団-陽桜-」を結成するなど積極的に活動をしています。

「翔馬」は結成初期にチームの代表曲となるようにと作曲され、長年熟成されてきました。馬が大地を駆け回り、曲が進むにつれ徐々に勢いを増し、翼の生えた翔馬（ペガサス）が大空を駆け回る様子を表現しています。

太鼓の種類や配置、打ち手人数を変化させながらの4部構成となっています。曲の中盤から始まる「二面打ち」や躍動感のある打法と演出、そして「笑顔」にご注目いただきながら、お楽しみください。

10 か おん 華音

神奈川県



演奏曲
はな む こころ
華やかに無の心

代表者：渡邊 晃伸

佐野 智子／竹井 文華
本田 凌大／茂木 柚奈
横井亜希子／篠崎 雄太
境 江里子／卯月 幸
石上 繁／重田ちさと
毛塚さおり／五十嵐英里
石上 紋奈／柴戸 歩
好田知佐子／江下 佳子
武田麻由奈／佐藤 昌宏
藤沢亜久里／屋宜ナタリア

和太鼓教室に通う主婦たちを中心に華やかで太鼓の音色を楽しむことを目的として2006年、横浜を活動拠点に結成されました。現在では22人ほどのメンバーで活動しています。

「華やかに無の心」は昨年、オリジナル曲として作曲された曲で、華やかな太鼓表現を取り入れた演目であり、曲の構成により無の境地に立ち無心に太鼓を打ち込みます。これまでにない構成と音色表現だけではなく、技術力にも力を注いでいます。

スピード感あるスタートから篠笛を挟み、激しいフレーズに変化し、デクレッシェンドで終止します。V字の編成や、長胴太鼓の動き、そして篠笛が無の境地に展開されていく場面にご注目ください。

11 こ こく らい きょう じゃぱん 鼓國雷響 JAPAN

岐阜県



演奏曲
しき こくらくきょう ながらがわうかい かりび
四季 鼓國雷響／長良川鵜飼 篝火

代表者：若山 雷門

堀 雷道／草深 晶藤
西脇 雷志／臼井 雷櫻
水野 美幸／留田ますゑ
小島 春花／鈴木 千景
塗壁 容子／木村 あき
清水 美月／高木 楓雅
鈴木 海結／宮ノ腰眞愛
大塚 優亜／豊吉 愛梨
森田 葵衣／木村 梓姫
木村 藍士

「鼓國雷響 JAPAN」は1996年、女性大太鼓奏者 雷華氏を打頭に全国連合会選抜メンバーと共に結成されました。現在は国内外に演奏活動を広げ、日本の四季や祭りを題材に「四季のある美しい国、日本」を太鼓の響きに代えて紹介しています。

「四季 鼓國雷響」はチームの柱曲です。躍動感あふれるリズムを勇壮豪快に打ち鳴らします。

「長良川鵜飼 篝火」は、漆黒の闇の中に赤々と燃える篝火を川面に映し、鵜匠と鵜が一体となって繰り広げる古典漁法の鵜飼の情景が思い浮かぶ曲です。曲の終盤、鵜飼舟が横一線に並び、一斉に鮎を追い込む「総がらみ」を迎えます。川面を焦がす篝火に似せた紅い房のバチが情感を誘い、観客を魅了します。

12

やまなしけんりつ ふえふき こうとうがっこう

山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部 山梨県



演奏曲

えん
炎～en～

代表者：廣瀬 志保

本間 美羽	森谷 優翔
石原穂乃香	大木 聖美
川口鈴乙音	森 愛華
天野 美空	雨宮 小梅
高橋 詩美	三枝ひなた
熊丸さくら	武藤 花夢
石原 千聖	近藤 小春
樋川 怜香	土屋 蒼空
土橋 陸斗	藤巻 咲耶
星合 寧音	

山梨園芸高等学校の太鼓部として1997年に創部されました。「すいれき」とは、前身高校の校歌の歌詞にあった「翠滴る櫟原」からとられ、学校が緑の滴る自然にあふれた環境にあったことに由来しています。

本日演奏する曲は太鼓奏者の前田タクヤ氏の作曲です。炎に酸素が吹き込まれ、真っ赤に燃え上がる様子をフォルテ、再燃の時をじっと待つ様子をピアノで表現しています。始まりから終わりまで緩急をつけた構成となっており、激しさと静けさのコントラストを意識した演奏になっています。

より伝わりやすくなるよう、音での表現に加えて、体の使い方や動きにも工夫を加えています。ぜひご注目ください。

13

ふく おか だい がく わ だい こ ぶ こ ぶ ざる

福岡大学和太鼓部(鼓舞猿) 福岡県



演奏曲

らい しょう
雷 衝

代表者：小野 衆也

柴田 莉穂	内田真納子	徳毛 亜美
田崎 詩乃	佐藤 大輝	中野 鈴
西川 晃生	西 温大	中村 颯太
中村 奏太	東 姫色	中尾 希凜
松本爽葉香	井手 壱彩	小倉 康希
氏福 遥香	高田 晃嘉	渡邊 快音
池田 聖永	高柳 悠人	森本 晃成
古賀 翔也	伊藤 亮太	井上 翼
田村 公暉		

2005年に3名で鼓舞猿が設立されました。途中、人数の減少などの危機がありながらも数々の演奏を行い、2012年に愛好会となり、2018年に部活動へ昇格しました。現在は約150名の部員で活動しており、主に九州内での演奏や定期演奏会を行い、最近では海外で演奏する機会も増えており、イタリアやタイ、台湾、ベルギーでも演奏を行いました。

今回の曲は、雷に打たれた衝撃、嵐の前の静けさや天候の移り変わりを表現した曲です。静かなスタートで嵐の前の静けさを表し、曲が進むにつれて激しさを増し、落雷の様子を描いていきます。

各パートのソロ演奏にもぜひご注目ください。

14 中日本太鼓連合

長野県



演奏曲

つなぐ

代表者：古屋 邦夫

菅原加代子	高林彦彦	矢ヶ崎健
野沢英行	菅原直也	菅原麻友
松枝明美	荻原大輔	浅川佳澄
井上鈴菜	鈴木崇	早川貴将
安藤美里	西野裕美	石田さや
武藤真夢	河村友果	酒井徳子
杉山朋子	保母幸太	早川直登
奥田由美	河村由香	高島奈々
高島笑美	太田由香	神田望
鈴木瑛斗	鈴木快斗	服部壮志
神宮さゆり	田辺菊枝	上野英子
島田良晴	布目志都	岩原哲徳
江口祐司	本田勝也	河合朋宣
川辺直生	森田光勝	勝野希海
宮田美恵子	西野恵津子	

中日本太鼓連合は中日本ブロックである6県（石川、富山、福井、岐阜、愛知、長野）が集まり、県を超えて和太鼓の文化を後世に伝えようと2018年に発足しました。

演奏曲は、連合発足時に連合メンバーで曲名や振付を完成させる曲として古屋氏によって作られました。しかし、新型コロナウイルスにより活動が自粛され、これまでは演奏されてきませんでした。コロナの終息と共に活動が再開。2年に渡って振付をし、練習を積みました。曲名を募集し、「様々なことを繋いで、永く親しまれる曲になってほしい」との想いを込め、「つなぐ」に決定しました。

個性豊かな打法の多い中日本地域。それらを活かした演奏法や太鼓を打てる楽しさや喜びを、老若男女問わず、県を超えて表現している姿にぜひご注目ください。

15 天邪鬼流 和太鼓 麗彩

岐阜県



演奏曲

おおだいこ
大太鼓

代表者：安藤 王子

川口 亜香

2009年5月より「太鼓集団 天邪鬼」の代表である渡辺洋一氏に師事し、2011年3月に初のコンサートを開催してデビューをしました。発足当初より、太鼓から打ち出される音響の凛とした美しさや、女性らしい華麗なパフォーマンスに挑戦し、人々の魂を呼び起こし、喜びを与える太鼓を迫及しています。

本日の演奏曲「大太鼓」は、2人の奏者が序・破・急の移り変わりを魅せながら、段々と高揚し大太鼓を打ち上げていきます。まさに和太鼓の醍醐味を感じられる曲です。2人の間（ま）と意気を合わせた「序」の部分と、個々の特性を生かしてお互いに打ち込む「破」の部分にご注目ください。

16

とうきょう と りつ しの ざき こう とう がっ こう わ だい こ ぶ
東京都立篠崎高等学校 和太鼓部

わ ざくら らん ぶ
【和桜乱舞】 東京都



代表者：山本 剛

藤原 志乃／吉部 春菜
山田 裕香／渡邊ちひろ
小林 尚矢／荒井 真衣
福田 羅奈／堀口 愛月
中館 美空／田中 結愛
本間 樹璃／佐藤 結春
横山 勉／佐伯 凜
渡辺くるみ

2022年に全国大会を目指す部活として結成されました。2023年には大会で金賞や個人賞を受賞し、2024年には関東大会出場やディズニーランドでの演奏といった実績を残しています。「和」は音の調和、「桜」は校章のデザイン、「乱舞」は桜の花びらが舞うかの如く、激しく演奏する姿を表しています。

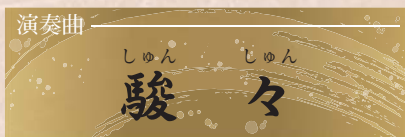
「HIMIKO」は混沌と移り変わる時代の先導者として、様々な人を導き、クニを作った卑弥呼の世界観を取り入れた楽曲です。先導者に人が集まり、争いがある新しい時代になる。時代の繰り返しの中で発展していく。そんな様子を表現しています。

宮打ち、斜め打ち、セット打ちなど様々な打法を取り入れ、それぞれのパートが違うフレーズを打ちつつも絡み合うアンサンブルやそれぞれの特徴を活かしたソロにご注目ください。

17

おお はる たい こ ほ ぞん かい
大治太鼓保存会

愛知県



代表者：若山 善之

宮崎 音色／加藤 大明
若山十和己／若山 優善
伊藤 優奈／谷田璃乃羽
若山 愛沙／滝 いずみ
西村 陽介／宇佐美愛音

江戸時代より尾張地方の農村地帯では、祭礼時に五穀豊穡と住民の安全を願い、太鼓を打ち鳴らす風習がありました。戦争などの影響で一時途絶えかけたものの、各町内で細々と神楽太鼓が伝承され、1981年に大治町の郷土民俗芸能として普及・保存を図るため太鼓教室が開催されました。そして、ふるさと創生事業の一環として町独自の芸能を育成する気運が高まり、1992年9月に「大治太鼓保存会」として発足しました。現在は、伝統の保存・継承のため地域のイベントやお祭りを中心に活動をしています。

本日の演目は、独特のパチ捌きを継承する尾張の伝統打法を組太鼓と融合させた一曲、「駿々」です。こちらのパチ捌きとパフォーマンスにぜひご注目ください。

どらむ りん 18 DRUM 輪

和歌山県



演奏曲
りん びゅういちだ
輪／美勇壺打

代表者：田原 綾子

石井 勝式／中尾 達也
東川 凌士／山畑 項平
高水 陽向／山崎 一樹
鎌村 七海／武田 多佑

きのかわ支援学校卒業生たちの「卒業しても仲間と一緒に和太鼓を続けたい」という願いを実現し、2019年から活動を開始されました。

1曲目はチームの最初の作品です。2曲目はタイトルに「壺」の字が入っており、式、参と発展させていきたいとの思いが込められています。そして、チームの新しい魅力が引き出せるように、今回は小さい音やゆったりとした演奏に挑戦しています。

「美勇壺打」は、少しずつ人数が増えていく連打から始まり強い響きと弱い響きを全員で合わせる展開になっています。中盤では半数ずつのパートで演奏する部分もあり、お互いの音をしっかりと聴いて響きを作り上げています。

声を出してリズムを合わせたり、バチや身体の使い方を揃える事で増していく曲の躍動感を感じてください。

ぎ ふ ゆう そう だい こ 19 岐阜勇爽太鼓

岐阜県



演奏曲
しな の ばん がく ひび
信濃 萬岳の響き

代表者：山本 貴志

高田 達美／高屋理恵子
浅田 桂子／野津 明美
花倉 千秋／古川 倫子
宮田 香子／武井 浩美
中島 隆行／鷺崎美智代
松尾 綾女／堀部可奈子
西野 裕美／本田 由美
篠田 幸二／日野 稔理

岐阜勇爽太鼓は1998年の長野オリンピック出場をきっかけに設立されました。地域のお祭りや施設の慰問イベントに参加したり、外国人研修生向けに太鼓体験会を開催するなど、グローバルに幅広く活動しています。

演奏曲の「萬岳の響き」は、長野オリンピック開会式で演奏された曲であり、御諏訪太鼓宗家である小口大八氏により作曲されました。チームの原点となる曲です。

曲が進むにつれ、徐々に盛り上がっていく曲であり、イベントでは締めめの1曲として演奏されることの多い曲です。最後に全員が一体となって力を振り切り、完全燃焼している姿が見どころです。ぜひご注目ください。

20 向日かぐや太鼓

京都府



演奏曲

あらしやま だい こ
嵐山太鼓

代表者：久嶋 博子

五十棲妙子／大坪 玲子
利田 清和／倉口 雅子
高木安紀子／長谷川武史
松本三八子／森本 裕美

1994年創設。市民有志が「向日香夜衆」として集まり、当初は古タイヤと市役所会議室で基礎練習を重ねました。向日市特産の竹で和太鼓を製作し、「向日かぐや太鼓」を郷土芸能として根付かせ、21世紀に伝えようと活動して今年で30年目を迎えます。

演奏曲は京都の観光名所、嵐山と保津川の景色をテーマにしています。向かって右側は京都盆地を取り囲む山々を、左側は京都の銘木北山杉と、それを切り出す作業の様子を表しています。後半は、勢よく流れる保津川から桂川に向かう川下りの様子をバチで表現しています。

左右のリズム変化や前半と後半の表現が変わる展開、打ち込みや移動など様々な要素を取り入れた表現をご覧ください。

21 和太鼓 大地

石川県



演奏曲

だい ち こ どう
地球の魂動

代表者：神宮 さゆり

丹波 良一／田辺 菊枝
鉄田 峰／上野 英子
島田 良晴／布目 志都
沖見 裕美／岩原 哲穂
江口 祐司

1999年に結成され、石川県金沢市を中心に活動しているチームです。メンバーの心を1つに、みんなが楽しめる演奏を目指しています。

演奏曲「地球の魂動」は何もなかった地球が少しずつ変化していく様子を表しています。風が吹き、雨が降り、川や山を創り海ができる。そして生命が誕生し、草花が咲き、大きな森になり、生物が生まれ、人間が誕生しました。そして現在、人間の活動により自然が減りつつある中で、昔のような自然に満ち溢れた大地を取り戻したいという願いを込めて演奏します。

センターの大太鼓から始まり、順番に音を足していきます。ソロパートや静かな演奏場面を経て、最後の盛り上がりへと繋がっていきます。それぞれのソロパートにぜひご注目ください。

22 奥州白河太鼓

福島県



演奏曲 代表者：加藤 久尚

橋本 節子／松島 弘行
小沢 玲子／長谷川 房子
菅原 敏子／井上 美千子
佐藤 和枝／渡部 裕子
西牧 和希／大島 菜摘
廣瀬 空／鈴木 叶夢
石井 陽翔／廣瀬 莉緒
廣瀬 尋／廣瀬 朔
金澤 光琉／金澤 翔琉
渡辺 明子

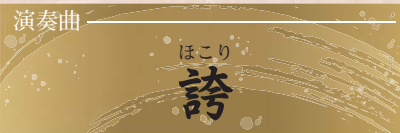
2004年、福島県白河市で開催された和太鼓教室の卒業生によって結成され、今年で20周年を迎えます。現在は、小学校1年生から70代までのメンバー23名で、世代を超えて和太鼓を楽しんでいます。

演奏曲は結成10周年を記念し、倉持武夫氏により作曲されました。寛政の改革で有名な松平定信公が、当時の厳しい身分制度下でも、誰もが自由に楽しめるよう「土民共楽」の理念により作ったのが「南湖公園」です。この曲は、その「土民共楽」の思想をモチーフに作られました。

前半は穏やかな南湖公園の風景を表現し、後半は「土民共楽」の思想の下、家族連れなど多くの人々が思い思いに楽しんでいる様子を長胴太鼓のセット打ちで力強く表現しています。長胴太鼓ややぐらの桴捌きにぜひご注目ください。

23 御璃刃

三重県



演奏曲 代表者：神谷 敏志

中西隆一郎／鈴木 貴博
庄子 和彦／南条 泰正
岡本 隆嗣／舟橋 美香

高校時代の同級生を中心に構成されたチームです。高校の文化祭をきっかけに太鼓同好会を設立し、翌年、太鼓部として活動を開始しました。卒業後、2006年から社会人チームとして活動を継続しています。

「誇」はある舞台にて、急遽即興で演奏した1分半のフレーズが前身となって作られました。

複数の太鼓を中心の演奏者が一人で使用し、メインのリズムを様々な組み合わせで演奏します。各フレーズは単調ですが、耳に残る表現をします。徐々に早く、複雑なリズムを複数の太鼓で演奏する中心のパートとリズムのパート、笛のパートが骨子です。曲の盛り上がりが最高潮となるポイントを各パートがどのように表現するかをお楽しみください。

24 上石津もんでこ太鼓保存会「弾」岐阜県



代表者：永墓 清一

河添 日向／土方梨里亜

田島 麟花／伊藤 綾香

伊藤 陽菜／馬場もえみ

石田 さや／高木 康嗣

1989年に町おこし事業の一環として発足し、今年で36周年を迎えます。「もんでこ」とは、上石津地区の方言で「帰ってこよう」という意味で、山間の地域を出た方々へのメッセージと、人と自然の調和の願いを込めて命名されました。

活動拠点である上石津地区の雄大な自然を知ってもらえるよう、自然の中に存在する「響き」を表します。多良峡の溪谷で響き合う様子や川の支流が本流へ向かい徐々に激しくなっていく太平洋へ流れ込む様を表現します。

上石津の雄大な自然を表現したダイナミックな演奏です。終盤に向けてのメンバー全員の一体感のある演奏や迫力のある音、動き、表情など全身で表す姿にご注目ください。

25 台湾太鼓協会 柏齡太鼓團 台湾



代表者：陳力愷

謝維心／孫俊宇

陳乃鴻／蘇佑翔

梁愷桐

幼稚園の子ども達に太鼓を習わせたいとの希望があり、陳豫立團長と宋羅蘭女士の共同で2006年に設立されました。今年3月、埼玉県で開催した第26回日本太鼓ジュニアコンクールにも台湾代表として出場しています。

今回演奏する曲のテーマは曲名に表されている通り、「挑戦」です。チャレンジ精神を込めて作曲されています。

曲は音の強弱や速さに気を付けながら、思いを込めて表現されます。曲中の掛け声「全力出撃、永不放棄、太鼓覇氣、登峰造極、無懈可擊、衝破天際、柏齡世紀、共創奇蹟」は、いつも全力で最後まであきらめずに太鼓を打ち続け、奇蹟を創造するという思いが込められています。

26 美濃の国羽島太鼓

岐阜県



演奏曲

もじゃ
Moja

代表者：久野 修平

アドバイザー／北島 盛也
今田 亜季／須賀 理佳
須賀 心菜／田中 愛紀
西脇 由佳／渡部 志保
六鹿 源太／山口 凜空
岡部 月南／清水口夢都美

1993年に羽島市の公募によって創立され、鼓童創設メンバーの一人で太鼓奏者の近藤克次氏の指導を受け、活動をスタートしました。地域のお祭りや各種イベント、また過去には海外公演も経験されています。毎年3月には自主公演となる「羽島太鼓ライブ」を開催されており、今年は結成30周年の節目となる記念ライブを成功させました。

今回演奏する曲「Moja」は、スワヒリ語で「1」を意味します。メンバーがゼロから作曲した初めての曲です。「1」を基本とするリズムに乗り、メンバーの心を1つにして演奏されます。注目するポイントは、シンプルなりズムです。軽やかリズムと明るい雰囲気をお楽しみください。



27 志賀疾風太鼓保存会

ゲスト団体
石川県



演奏曲

せいちょう し か はやて だい こ
正調志賀疾風太鼓

代表者：新谷 克己

本谷 博／西口 紀恵
森井 健治／谷 政彦
堀田 泰司／本谷 広輝
細川 隆之／高野 靖博
安田 繁／河野 吉秀

能登半島の西側に位置する海と山に囲まれた町、石川県羽咋郡志賀町を拠点に活動しています。その昔、綿津見の三神を奉ずる安曇族が、筑前の国・志賀の島から当町の百浦に漂着しました。その安曇族が町の山手・安津見に定住し、遙か故郷を偲んで疾風に迫り、力強く勇ましく太鼓を打ち鳴らしたのが志賀疾風太鼓のはじまりといわれています。1つの太鼓を怒涛のごとく打ち鳴らし、一打一打に魂を込めた音は、聞く人の心を打つ能登の正調太鼓の源流です。

令和6年1月1日発災の能登半島地震に際して、全国各地の太鼓団体より受けましたあたたかい励ましの言葉や支援に対し、心からの感謝を込めた精一杯の演奏を披露します。

28 三代目源流

ゲスト団体
大分県



演奏曲

ゆ ふ き えい ぜろ
由布おろし／気鋭／令 (ZERO)

代表者：城内 三美

阿南 晴大／長谷川 凌
鈴江 蓮央／長谷川 凜
立川 暖真／菅 航史郎
永松 寛祐／立川 悠陽
迫 芽吹

大分県由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の音を後世に継承したいという思いで、2014年「ゆふいん源流少年隊」が結成され、「三代目源流」はその代表チームとして出演しています。

今回は、第26回日本太鼓ジュニアコンクールの課題曲「気鋭」、自由曲「令 (ZERO)」を披露します。「気鋭」は、気力に溢れ、積極的な気持ちで勢い付く若者を表現し、当財団長谷川義会長が作曲しました。「令 (ZERO)」は、様々なジャンルの太鼓がグローバルに展開されている現在、日本の文化である和太鼓を原点から見直していこうという意味が込められています。

日本の伝統、名刀のごとき打ち込みの美学をご覧ください。

三代目源流は、2024年3月24日に埼玉県さいたま市で開催された「第26回日本太鼓ジュニアコンクール」で、2回目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。

29

おわりしんじろうたいこほぞんかい ゲスト団体 尾張新次郎太鼓保存会 愛知県



演奏曲
きょくたいこ くず きょくたいこ しんぐるま
曲 太鼓 わたよせ崩し / 曲 太鼓 神楽舞

代表者：西川 恵美子

服部 貴行／土方 道人
鳥山 竜佑／安井 貴広
鈴木 快斗／服部 壮志
池田美乃吏／中川 朔暢

愛知県西部・尾張地方の農村地帯に江戸時代（文化・文政）の頃から伝わる神楽太鼓です。その名称は祭囃子の復活に生涯を捧げた初代会長、故西川新次郎氏の名前からきております。新次郎氏の教えを受けた弟子たちが一堂に集い、1979年に保存会を結成されました。

尾張新次郎太鼓保存会の神楽太鼓は「曲太鼓」と「神楽屋形太鼓」に大別できます。曲太鼓は長胴太鼓と紐締太鼓を座して打ち、曲中に檜製のバチを回転させたり、飛ばしたり曲芸をしながら通打するものです。日本の太鼓界でも独特な打法であり、尾張地方における太鼓文化の中で独自の進化を遂げて今日に伝えられています。神楽笛に合わせて奏打するこれらの太鼓は、名古屋市にある熱田神宮の大神楽から発生したものです。

30

おすわだいこほぞんかい ゲスト団体 御諏訪太鼓保存会 長野県



演奏曲
す わ いかつち
諏訪雷

代表者：古屋 邦夫

菅原加代子／小口 佳澄
道ノ後百合子／道ノ後 良
高林 英彦／河西のぞみ
矢ヶ崎勇健／野沢 英行
菅原 直也／菅原 麻友
萩原 大輔／浅川 佳澄
井上 鈴葉

諏訪大社の神楽の鼓舞楽を伝承保存する無形文化財であり、地元を代表する郷土芸能です。1998年長野冬季オリンピックの閉会式では文化芸能プログラムに参加し、当時世界初の2,000人の揃い打ちと、「日本の祭り」を飾る勇壮な太鼓の響きを全世界に届けました。

今回演奏する曲は、四囲を山に囲まれた諏訪盆地の雷の想像を絶するすさまじさを太鼓で表現しています。神秘の閃光に伴い、雷鳴四海を圧して驟雨慄然として至り、轟音耳をつんざき大地を揺るがす雷神の様相ながらです。本来は雨乞いの人事や豊作祈願の曲でしたが、戦勝を祈願し、川中島の合戦において軍楽として使用されました。

きゅう しゅう おと こ ぐみ
31 九州 音鼓組

ゲスト団体
長崎県



演奏曲

ご し き
五士気

代表者：田中 俊亮

松尾	和也／長興	陽考
高増	暖人／平片	楽
玉城	綾姫／宮田	心美
竹市	奈々／中村	優

長崎県大村市を拠点に活動する和太鼓チームで、田中俊亮代表を中心に長崎県内の太鼓打ちが集まり、2009年に結成されました。地元長崎を太鼓で盛り上げています。

今回演奏する曲は、「五士気」です。この曲はチーム結成後、5曲目に制作した曲なので、漢数字の五を入れています。当時はメンバー5人で演奏していたこともあり、5にこだわった曲です。担ぎ桶太鼓、締太鼓、締獅子太鼓、笛、チャップと様々な楽器を組み合わせた構成です。スピード感のある曲想からスタートし、笛との調和へと展開していきます。各ソロの演奏があり、後半からは激しい曲になっていきます。

笛の音色と各メンバーのソロにご注目ください。



2024年度の主な事業活動予定

■ 日本太鼓ジャンボリー 2024(終了)

期 日：2024年6月9日(日)
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団東京都支部
出演団体：12団体

■ 第9回大学太鼓フェスティバル(終了)

期 日：2024年8月28日(水)
場 所：タワーホール船堀大ホール(東京都江戸川区)
主 催：大学太鼓連盟
協 賛：公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体：13団体

■ 第26回日本太鼓全国障害者大会(終了)

期 日：2024年10月6日(日)
場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団
共 催：社会福祉法人 富岳会
主 管：日本太鼓財団奈良県支部
出場団体：23団体

■ 第8回浅草太鼓祭

期 日：2024年11月3日(日・祝)
場 所：隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
主 催：浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
特別協賛：公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体：20団体程度

■ 第21回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2024年11月17日(日)
場 所：石川県小松市團十郎芸術劇場うらら(石川県小松市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、
一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部
出場団体：30組程度

■ 第27回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2025年3月23日(日)
場 所：iichiko グランシアタ(大分県大分市)
主 催：公益財団法人 日本太鼓財団
主 管：全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部
出場団体：50団体程度

■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

第72回日本太鼓全国講習会 2025年2月22日(土)・23日(日) 鹿児島県

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

＜設 立 日＞ 1997年11月11日

＜公益財団移行日＞ 2012年4月1日

＜資 産＞ 基本財産3億円

＜加盟支部数＞ 47支部(43都道府県)

＜加盟団体数＞ 約650団体

＜会 員 総 数＞ 約17,000人

＜理 事＞ 会 長 長谷川 義 全九州太鼓連合名誉最高顧問
副会長 古屋 邦夫 中日本太鼓連合会長
常務理事 佐々城 清 常 勤
理 事 相澤 佳余 (公財)ニッポンドットコム常務理事
理 事 太田 義高 日本太鼓財団北海道連合会会長
理 事 玉澤 正徳 (公財)笹川スポーツ財団常務理事
理 事 山内 強嗣 (福)富岳会理事長
理 事 湯澤 元一 関八州太鼓連合会長

＜評 議 員＞ 評議員 浅野 昭利 (一財)浅野太鼓文化研究所理事長
評議員 岩切 邦光 全九州太鼓連合会長
評議員 河合 睦夫 富山県太鼓協会名誉会長
評議員 小林 一郎 (株)イー・シー・エー代表取締役
評議員 佐藤 淳子 元(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表
評議員 田中 泰秀 NPO 法人東京都太鼓連合理事長
評議員 中西 由郎 元(一財)日本モーターボート競走会監事
評議員 西川恵美子 尾張新次郎太鼓保存会会長
評議員 吉倉 和宏 日本財団常務理事

＜監 事＞ 監 事 伊藤 勝彦 弁護士 ITN法律事務所
監 事 金子 明 (公財)笹川保健財団監事

(五十音順・敬称略)



日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号

Tel (03) 6205-4377 Fax (03) 6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : info@nippon-taiko.or.jp